

江東区 「江東区立第三砂町中学校」の学校支援の取組について

取組の特徴

平成20年度「学校支援地域本部」としてスタートし、平成23年度からは「三砂中支援の会」と名称を改めて、第三砂町中学校に通う全ての子供たちの健やかな成長のために活動しています。特に不登校の防止のためには、子供たちの学校での居場所作りが大切であると思います。わたしたちはまず図書室開放を皮切りに、放課後、子供たちとの語らいの場を作ることから始めました。そして読書はもとより、趣味を生かした「囲碁・将棋」や「手芸」「アート」などの活動も行い、地域の大人とのふれあいを深めながら、学校生活をより楽しいものにできるように手助けをしています。

さらに、子供たちの学力を伸ばすことにも地域からの応援ができればと、躓(つまず)きの多いと言われる数学の補習や定期考査前の学習支援、各種検定へのチャレンジ支援を行っています。

■ 主な活動内容(平成23年度)

- ① 放課後の図書室開放
- ② ホームページ更新
- ③ 週末の数学補習教室
- ④ 検定受検者の補習教室
- ⑤ 考査前学習教室
- ⑥ 囲碁・将棋・手芸・アート
(図書室開放時)

■ 地域の機関・団体との連携・協力

「三砂中支援の会」の組織には、地域の支援者の皆さんを中心としたコーディネーターに学生・元教職員が加わっています。また英検補習には地元で活躍される英語研究グループESVAの皆さんの協力を得ています。さらに、数学補習では江東区の学習塾連携事業とタイアップして、塾の先生による個別指導も受けられます。

■ 地域ボランティアやコーディネーターの活動状況

地域ボランティア…地域支援者・有識者・学生・元教職員の皆さんが、参加しています。

コーディネーター…後援会を中心に「三砂中支援の会」を組織しました。

教職員…生徒への参加啓発、事業への協力をお願いしています。

■ 組織・運営について

企画立案については地域住民の願いと学校側の意向を重ね合わせながら、年度当初に年間を通じた日程等を計画します。「図書室開放」は、年間を通じて約50回行います。毎土曜日の「数学補習教室」は、学年別に年間約30回程度、特に3年生向けには塾講師を中心に高校受験対策として実施しています。また、「英検・漢検補習」は、検定日の直前4日間を基本に合格を目指します。さらに中間・期末各考査前に4日間ずつ行う「考査前学習教室」には、毎回40人以上の生徒さんが図書室を訪れます。他にも学校HP更新のお手伝いや図書室開放時には囲碁・将棋やアートの指導もしています。

■ 取組の効果と今後の展望について

昨年度、毎回、図書室開放に参加していた生徒さんの足が、最近少しずつ遠ざかっています。でもこれは、「居場所作り」としてスタートした試みの効果の現れです。日頃の様子をお聞きしても、私たちの活動が生徒さんの支えになったと実感しました。補習教室にも回を追うごとに参加者が増えていきます。英検も漢検も合格率が上がっています。生徒さんのうれしそうな笑顔が私たちの大きな喜びです。



数学補習教室の様子



図書室開放の様子